

◆本校研究の全体構想

予測困難な変化に柔軟に対応できる「生き抜く力」

学校教育目標

かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子

〔児童の実態〕

- 「指示待ち」の傾向が強い。
- 自力で問題解決に向かう意欲が低い。
- 家庭学習の時間が短い。
- 自尊感情が低い。
- 粘り強く考えることが苦手。

〔社会的背景〕

- ◆グローバル化された社会構造や世界情勢の急激な変化の中、予測困難な未知の時代に求められるのは、以下のような力である。
- 主体的に学び続けて自己の能力を引き出す力。
- 他者と認め合い、対話したり、協働したりすることにより、新たな価値を生み出していく力。

研究主題

児童の自己指導能力の育成を目指して

研究仮説

自己指導能力の育成という目的のもと、①生徒指導の機能を生かした教科指導の充実と道徳教育の充実、②自己肯定感と共感的人間関係を育む積極的生徒指導による学級経営の充実、③一貫性のある学校支援体制の整備、という3つの視点による指導改善を組織的、計画的に行うことで、児童の自己指導能力が高まるであろう。さらに自己指導能力が高まることで、児童に望ましい生活態度や学習規律が身につく、学習意欲が高まり、学力の向上につながるであろう。

生徒指導の機能を生かした学習指導の充実

～算数科を中心とした授業研究を通して～

- ◆主体的・対話的で深い学びを目指しながら
- ・自己決定の場を与える工夫
- ・自己存在感を与える工夫
- ・共感的人間関係を育成する工夫

道徳教育と生徒指導との相互充実

～道徳教育と生徒指導の相互補完関係を生かして～

- ◆生徒指導を生かした道徳教育
- ・望ましい学習態度と考えを聴き合う人間関係の育成
- ◆道徳の授業の生徒指導への貢献
- ・温かみのある学級風土の醸成や自己開示の促進

教職員同士の議論

基盤となる学級経営の充実

教職員間のノウハウ共有

- ◆基本的生活習慣の確立
- ◆家庭学習習慣の定着
- ◆望ましい学習規律の定着

- ◆学習意欲の向上
- ◆生活改善意欲の向上
- ◆集団関与への積極性の喚起

- ◆自己決定の場を与える
- ◆自己存在感を与える
- ◆共感的人間関係を育成する

生徒指導

- ◆積極的生徒指導の推進
- ◆全体計画・年間計画の整備
- ◆児童理解と情報共有の促進

学校支援体制の整備

特別活動

- ◆自己肯定感・共感的人間関係育成プランの導入
- ◆全体計画・年間計画の整備